

## 今、新しい漢方を学ぶ。

伝来から約1500年続く医療、漢方は現代社会において医療現場はもちろんのこと、各種セラピーや日常生活でもその有効性を見直されています。

当研究会や開催セミナーは、漢方の様々な分野の第一線で活躍される先生方を中心に、漢方の基礎応用、生薬のより効果的な使用法の探索、従来の漢方販売の枠を超えた各種セラピーとの融合の可能性をプロフェッショナルな視点で学びます。



### プレセミナー開催のお知らせ

日時 8月2日(土) 14:00～17:00 場所 TKP 四谷第一会議室(四ツ谷駅徒歩1分)

内容 14:00～ 「漢方自由自在」～漢方でセルフメディケーションの達人になる～ 高村優子先生

14:50～ 生薬の生産地「中国」の現状 佐橋佳郎先生

15:40～ 「統合医療時代の新たな漢方」小池弘人先生

セミナー終了後に先生方を囲んでの懇親会を予定しております。  
ぜひご参加ください。

医師、薬剤師、看護師、鍼灸按摩師等医療従事者およびリフレクソロジー、心理職アロマセラピー、メディカルハーブ等各種セラピー資格取得者向けの内容ですが一般の方のご参加も可能です。

定員30名 セミナー参加費用 2,000円(当日支払)

申込み連絡先 Mail: kanken@koikeclinic.com  
:03-3357-0105(小池統合医療クリニック)

申し込み方法 7月28日までに上記にご連絡ください

注意事項 プレセミナーに不参加の方でも本講座は受講可能です。  
最小催行人数に満たないときは開催を延期することがあります。

#### \* 会場地図

[http://www.kaigishitsu.jp/yotuya\\_map.php](http://www.kaigishitsu.jp/yotuya_map.php)



### 講師紹介



#### 小池弘人先生

群馬大学医学部医学科卒  
医学博士。アリゾナ大学統合  
プログラムのアソシエイトフェロー  
を修了、統合医療の実績を研鑽。  
群馬大学医学部医学部内講師  
を経て、東京女子医科大学附属  
青山女子・自然医療研究所にて  
統合医療外来を担当。  
2007年1月小池統合医療  
クリニックを開院し現在に至る。



#### 高村優子先生

製薬メーカー研究所勤務後  
身体全体を整えていく考え方  
に魅かれ漢方の世界へ。  
漢方薬局での経験を生かし、  
現在は、医療福祉専門学校  
講師及び漢方薬メーカー主催  
の勉強会で講師を務める。  
講演、コラム執筆を通して、  
多くの人に漢方の良さを知って  
もらうべく日々奮闘中。

# 第1回 本講座(全4回)開催のお知らせ

サプリメント、鍼灸、マッサージ、アロマセラピー、ホメオパシー…様々な代替医療があふれている現在、わが国の伝統医療の代表である「漢方」もこれらを無視するわけにはいきません。さまざまな代替医療の特徴を活かしつつも、伝統的な漢方医学の持つ良さを堅持する姿勢がこれからの漢方に欠かせなくなるでしょう。そうした「漢方」の持つ新たな可能性を追求していく講座です。毎回、各代替医療の解説に加え、漢方との併用のポイントなどを実際の臨床例を交えて解説します。統合医療に関心のある方、サプリやアロマなどを取り入れた新たな漢方薬局を模索している方々にお勧めの講座です。

日時 第1日目 9月27日(土)14:00～18:00 場所 TKP 四谷第一会議室(四ッ谷駅徒歩1分)  
第2日目 10月25日(土)14:00～18:00  
第3日目 11月8日(土)14:00～18:00  
第4日目 11月22日(土)14:00～18:30 \*内容詳細は欄外をご参照ください

医師、薬剤師、看護師、鍼灸按摩師等医療従事者およびリフレクソロジー、心理職アロマセラピー、メディカルハーブ等各種セラピー資格取得者向けの内容ですが一般の方のご参加も可能です。  
本セミナー卒業生は、修了証と研究会への入会資格が与えられ、ご入会後は定期的な勉強会やセミナーなどへご参加いただけます。

定員40名 セミナー参加費用 35,000円(事前振込)  
申込み連絡先 Mail:kanken@koikeclinic.com  
:03-3357-0105(小池統合医療クリニック)

申し込み方法 上記にご連絡いただいた後、セミナー申込用紙と入金用書類を送付させていただきます。入金にかかる手数料はご負担ください。申込用紙に必要事項をご記入の上、9月20日までにご返送ください。

\*注意事項 プレセミナーに不参加の方でも本講座は受講可能です。最小催行人数に満たないときは開催を延期することがあります。

## 本講座内容

本講座は全4回で構成されております。毎回、テーマに沿った漢方処方現場からの考察や生薬の特性解説に加え、各種統合医療との併用のポイントなどを実際の臨床例などを交えて解説します。

第1日目	『風邪に効く漢方』～桂枝湯・葛根湯・小青竜湯・小柴胡湯・麦門湯(高村) 風邪症候群に用いられる生薬紹介～桂皮、麻黄、生姜等～(佐橋) 統合医療における漢方(小池)
第2日目	『女性に効く漢方』～桂枝茯苓丸・加味逍遙散・当帰芍薬散・温経湯・当帰四逆加呉茱萸生姜湯(高村) 女性の悩みに用いられる生薬紹介～当帰、川キュウ、桃仁、牡丹皮等～(佐橋) 漢方とサプリメント(小池)
第3日目	『痛みを効く漢方』～芍薬甘草湯・桂枝加朮附湯・桂芍知母湯・呉茱萸湯・釣藤散(高村) 痛みに対して用いられる生薬紹介～芍薬、附子、呉茱萸、釣藤鈎等～(佐橋) 漢方と鍼灸(小池)
第4日目	『心に効く漢方』～香蘇散・半夏厚朴湯・桂枝加竜骨牡蠣湯・抑肝散・加味帰脾湯(高村) 心の悩みに用いられる生薬紹介～紫蘇葉、竜骨、牡蠣、竜眼肉、酸棗仁等～(佐橋) 漢方とホメオパシー(小池) パネルディスカッション(小池・高村・佐橋・島村)

(内容は都合により変更されることがあります)



佐橋佳郎先生

薬科大学時代に、藤平健先生小倉重成先生にめぐり合い漢方のとりことなる。臨床家目指して鍼灸師の資格もとるが、その後生薬メーカーへ。臨床の先生方に、生薬および生薬治療の面白さをお伝えするという縁の下の仕事を満喫している。現在二つ目の生薬メーカーに在職中。

## 「可能性のための漢方研究会」

「可能性のための漢方研究会」は、漢方の処方や生薬における探索的なアプローチや、従来の漢方の枠を超えた各種セラピーとの融合の可能性を求め、医療や関連分野における垣根をこえた情報交換、相互の関連知識の習得、専門家としての独立モデルなど、あらゆる情報共有、啓蒙活動の場を提供することを目指します。

内容についてご不明な点や詳細に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

事務局  
東京都新宿区  
四谷2-8新ビル602  
03-3357-0105  
小池統合医療クリニック  
担当 島村さやか